

村の出来事

村内の出来事、話題をお届けします

近自然セミナー&ワークショップ2014



7月19日〜20日、身近な自然エネルギー、暮らしに役立つエネルギーについて考え合うセミナーが行われました。

スイス近自然研究所の山脇正俊さん、ふらの市民環境会議会長の家次敬介さんを講師に招き、自然の中のワークショップや交流会を行いました。また、湯の沢温泉の薪ボイラーなどの村のエネルギー状況や富良野市麓郷の小水力発電を見学するなど、村内外からの約60名の参加者は、自然エネルギーについて深め合いました。

反核平和の火リレー 地域へ平和を呼びかける



7月30日に、ヒロシマ・ナガサキの心を語り継ぎ、核も戦争もない平和な社会の実現を求めた「反核平和の火リレー」が上富良野町から走りつながら、占冠村に到着しました。

8月の広島平和体験学習の参加中学生もランナーとして参加し、到着集会では、火の引き継ぎ後、広島平和体験学習の決意表明が行われ、最後に平和の村宣言を全体で確認しました。

風化する戦争の悲惨さ・生命の尊さを感じて 平和を考える映画会



8月11日に、コミュニティプラザで広島平和体験学習報告会と平和を考える映画会が行われました。

報告会では、平和体験学習に参加した中学2年生と引率者から、戦争の恐ろしさや平和な現在を実感するなどの感想が語られ、約50人の参加者が真剣に聞き入りました。

映画は、幼い子供が命を落とした戦争をリアルに再現したDVDが上映されました。

平和への誓い新たに 戦没者追悼式



8月13日に、占冠神社境内において、遺族、来賓の参列のもと、戦没者追悼式が厳かに行われました。戦没者に対して、中村村長をはじめ相川村議会議長などから追悼のこたげが捧げられ、平和の尊さをかみしめながら参列者たちは献花を行いました。

また、同境内では占冠村の自治振興に尽力した歴代村長、議会議員を偲ぶ自治功勞物故者追悼式も行われ、遺族、関係者が冥福を祈りました。

地域の「今」を語る会（双珠別地区）を開催しました

占冠ふるさと活性化推進委員会（住民や団体、村などで構成）は、7月29日に、双珠別地区の住民の皆様と共に、地域の「今」を語る会を開催しました。

この会は、今年3月に地区住民の皆様のご意見等を踏まえて策定した集落対策方針（双珠別・中央・占冠地区）に基づき、住民が主体となって地域課題に対応し、地区のめざす姿を実現するために話し合いを行うという取組です。

今回は、双珠別地区の皆さんが気になっている山火事をはじめとした「地域の防火対策」をテーマに、富良野消防署占冠支署から防火対策に関する講義を受け、その後、主に山火事に対する備えや発生時の具体的な対応について住民同士の座談会を行いました。

座談会では、「災害が起きた場合に、どこに逃げればよいかを考えておくことは大切だ」と思う。「水害や山火事など、災害によって逃げるべき場所が違うことがわかった。」などの意見や感想が出され、



座談会の様子

地域の安全・安心に対する住民の皆さんの関心の高さが伺われました。座談会の最後に、今回出席できなかった方を含め、山火事ที่เกิดขึ้น際の避難場所・方法等について、住民同士の話し合いを継続していくことが確認されました。

占冠ふるさと活性化推進委員会では、住民の皆様の一歩等を踏まえながら、今後、他の地区でもこうした住民主体の取組を応援してまいりたいと考えておりますので、関係地区の皆様のご理解、ご参加をお願いいたします。

いざという時のために



占冠村赤十字奉仕団によるハイゼックス講習会開催

7月31日、災害時の模擬体験として、赤十字テントと赤十字釜を使用した屋外でのハイゼックス講習会が行われました。

奉仕団員と村民の34名が参加し、包装食袋を使った炊き出し（ハイゼックス）を初めて体験する方とともに、炊き出しの方法を学びました。また、参加者は、この取り組みを通じて、奉仕団の心構えや活動についても認識を深めました。

仮装衣装に身をまとい～納涼盆踊り大会



連合北海道占冠地区連合会主催による「納涼盆踊り大会」が占冠村農村公園で開催されました。

心配された天候も盆踊りが始まる頃には晴れ渡り、子ども盆踊りや子ども花火、懸賞盆踊りが行われました。

懸賞盆踊りには、村内外から4組が参加し、切れのある踊りや工夫を凝らした仮装衣装で観客の目を楽しませました。

また、16日には宮下地区、18日には占冠地区で、それぞれの地域の盆踊りが行われました。